

緑地雑草科学講演会のご案内

‘草’は表土を創り育む：私たちが忘れた大事なこと

講師：伊藤幹二氏（マイクロフォレストリサーチ株式会社）

日時：2022年7月4日（月）13時30分～15時30分

場所：Zoomによるオンライン開催

申込：メール申込（k-saji@bousou-ken.orgまで）

後日ZoomのURLを申し込みのメールアドレスにお送りします

その他：参加無料、申込期限6月30日（木）

私たちの生活は間違いなく、国土の上に成り立っています。しかしその基本的資源である表土と植生の関係については、ほとんど意識してこなかったのではないのでしょうか。本講演会は、緑地における雑草管理を行う私たちが、植生によって育まれてきた表土の機能についてしっかりと理解し、植生管理を通じて持続的な生活環境をいかに作り上げるかを考える機会になると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

<要旨>

現在社会は最近まで、技術がほとんどの問題を解決するという概念を育んできました。しかし、その結果生じた「自然の資源が生成されるより早く消耗されてしまう」という深刻な問題は、技術では決して解決できないのです。化石燃料の話ではありません。地球規模で考えれば、私たちは‘地球の皮膚’ともいえる植生と表土を徐々に使い果たそうとしているのです。生物圏の進化に伴って発達してきた自然の表土にあっては、陸上生態系そのものを破壊ささなければ、表土の生産力は維持されるとされています。この生態系を支える表土の能力を‘持続的’に維持していくために、今、草に関わる私たちが何をしておけばよいのかが今回の主旨です。そして、現在の世界的課題である‘表土維持’にどう向き合うのか、あまり知られることのない



表土が創られないとこうなる。たとえばスギ林
国土技術政策総合研究所ホームページより
(<http://www.nilim.go.jp/>)

‘草-表土’関係を、「表土とは何だろう?」、「喪失する列島の資源‘表土’」、「だれが表土と植生を守るのか」の切り口から解説します。

<本講演の関連記事>

草と緑 (2013) 5: 16-27.

https://doi.org/10.24463/iuws.5.0_16

講師プロフィール：京都大学大学院農学研究科博士課程中退、農学博士
日本・米国企業において有害生物の管理事業開発に従事、2001年独立し現職。
NPO法人緑地雑草科学研究所、NPO法人兵庫県樹木医会、NPO法人グラスパーキング技術協会において理事を務める。